

ゴルフエッセー「耳と耳のあいだ」(第12回)

ゴルフスクール選びに見る店舗経営の極意

2016.07.26

読者の中には、本格的にゴルフを学ぶ人はもちろん、健康維持の一環としてゴルフに親しむ人もおられることでしょう。私の運営するゴルフスクールでは、活動目的に「一人でも多くの人々に健康で豊かな人生を送っていただくこと」を掲げ、健康の維持・増進のための運動プログラム(ゴルフフィットネス)をお客さまに提供しています。

ゴルフは身体バランスがとても大切なスポーツですから、身体バランスを整えることは、ゴルフの上達にも健康維持にもつながります。インストラクターも単にスイング技術を教えるのではなく、豊富な知識と経験のもと、お客さまを健康に導くことを最大のミッションとして常に接しています。

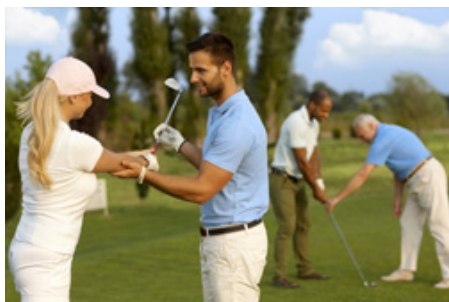
このように、一口にゴルフスクールといっても、運営方針はさまざまです、それによって指導方法やインストラクターの質も異なります。前回(第11回)は、良いゴルフインストラクターを見極めるには体験レッスンが近道と紹介しました。もう一回り大きなフレームワークでゴルフスクールを選ぶポイントを説明しましょう。

立地や施設も大事だけど……やはり、まず「笑顔」を見よう

ゴルフスクールを選ぶ際、ご自宅や職場からの「近さ」で選ぶ人が圧倒的に多いようです。確かに「通いやすさ」は重要ですが、どんなに良いスクールでも、場所的に通うのが大変であれば長く続けるのは難しいでしょう。

どんな施設なのかも大切です。アウトドアの練習場、いわゆる「打ちっぱなし」なのか、インドア練習場なのか、それぞれメリットとデメリットがあります。アウトドアの場合、ネットまでの距離がどれくらいあるのか、バンカーやパッティング練習グリーンなどの付随設備があるかどうかと比較検討の対象です。インドアの場合、映像解析システムがあるか、シミュレーションが設置されているかも見ておくとよいでしょう。

こうした立地や施設といったハード面は、スクール選びの大切なポイントではありますが、分かりやすく比較しやすい項目です。一方、判断が難しいのがソフト面、つまり、インストラクターやスタッフの良しあしなどです。



私が考える良いスクール選びのポイント。その1つ目はスタッフの「笑顔」です。インストラクターをはじめ、受付スタッフやメンテナンススタッフなど、練習場で働くあらゆるスタッフが、皆笑顔で働いていれば、良いレッスンやサービスが、期待できます。

表情は「情を表す」と書くように、その人の人柄を表します。スタッフがやりがいを持ち、イキイキ楽しく仕事をしていれば、それは必ず表情となって表れます。そして、そのような職場は、仕事の質も高いはず。スクールにおいても何より、皆が笑顔で対応してくれれば気持ちがいいですね。このことは、ゴルフに限らずサービス業全般にもいえることでしょう。

スクールの雰囲気をつくる「情報共有」… 続きを読む